

【登壇者プロフィール】

■中里信和 東北大学病院てんかん科教授

東北大学医学部医学科卒業後、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校医学部・研究員、財団法人広南会広南病院・副院長を経て、2010年東北大学大学院医学系研究科・教授に就任。日本の大学病院では初となる「てんかん科」を東北大学病院に新設し、てんかん科科长に就任。てんかん診療のネットワーク強化に努めるほか、医師がてんかん発作を見て学べる映像の作成や、一般市民向けの講演会など、てんかんに関する情報発信も積極的に行っている。

■藤川真由 東北大学病院てんかん科助教

米国ウィスコンシン大学マディソン校リハビリテーションカウンセリング部修士課程修了、米国ウィスコンシン大学マディソン校リハビリテーション心理学部博士課程修了。2013年より東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野助教、2014年より東北大学病院てんかん科助教に就任。心理社会面での患者さんのサポートや、合併する精神疾患の精査・介入、医療現場と地域の連携サポートネットワークの確立を目指している。

【ゲストプロフィール】

■上埜 高志 東北大学教育学部教授

専門は臨床心理学、精神神経科学、実験心理学。精神科医でもある。現在は東北大学教育学部において、こころのケアやサポートに関する臨床心理学的研究に携わる。また、東北大学病院精神科において、調査研究も実施している。